

東日本ユニオン よこはま

JR東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

2018年度 期末決算発表

単体決算は増収増益。営業収益・運輸収入が7期連続の増収
物件費等の増加があったものの、固定資産売却益の増加などにより、当期純利益が

過去最高

JR東日本は、4月25日に「2018年度 期末決算」を発表しました。単体決算は増収増益。営業収益・運輸収入は7期連続の増収かつ、過去最高。物件費等の増加があったものの、固定資産売却益の増加などにより、当期純利益が過去最高になりました。連結決算は増収増益。営業収益は7期連続の増収かつ、過去最高。また、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益が過去最高になりました。

運輸事業では、運輸収入が定期外収入を中心に増加したことなどにより増収増益。流通・サービス事業では、東京駅等の店舗の売上が好調であったことなどにより増収増益。不動産・ホテル事業では、「ペリエ千葉」の全面開業に伴う増収効果やホテル業の好調などにより増収増益。その他では、情報処理業やクレジットカード事業の売上が増加したことなどにより増収減益と発表しました。

JR東日本グループ全体では、好調な業績を上げています。

JR東日本単体 期末累計表（4月1日～3月31日）

（単位は億円）

科 目	2017年度 実績	2018年度 実績	増益金額	前年比 (%)
営業収益	20,932	21,133	200	101.0
運輸収入	18,367	18,567	200	101.1
営業利益	3,951	3,918	△32	99.2
経常利益	3,589	3,548	△40	98.9
当期純利益	2,470	2,511	40	101.7

**2019年度夏季手当の要求獲得に向け
JRで働く全ての力を結集し、たたかいをつくり出そう!**